

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月17日更新

事務事業名		健康育児相談事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	鍛野 文昭
	施策	19	子どもを見守り、育てる地域づくり			所属課	健康づくり推進課	担当者名	福本 美恵子
	基本事業	59	相談支援体制の充実			所属班	健康推進班	(内線)	2132
予算科目		会計一般	款 4	項 1	目 6	事業連番 10606	法令根拠	母子保健法	成果優先度評価結果 : ② コスト削減優先度評価結果 : ①
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	子どもたちの発育・発達の確認、母親の育児不安解消のため保健師・助産師・栄養士が相談に応じる。昭和58年の老人保健法の施行に伴い、成人の健康相談が主として開始した。しだいに社会情勢の変動により、母子の相談のニーズが高まり育児相談の割合が増加してきた。よって合併を機に「健康育児相談」として母子保健事業の中で継続実施している。 主な活動内容は、身体計測・栄養指導・保健指導で、乳幼児健診のフォローとして案内したり、育児について相談がある親子が来所している。
【業務の流れ】	すこやかカレンダー、広報、乳幼児健診等で事業の開催について周知を行う。 毎月ふれあい館・泉ヶ丘市民センターの2カ所で開催。 ①会場の設営②受付、身体計測、保健・栄養相談等の実施。必要者には母子健康手帳の発行③ミーティング及び片付け④相談後のフォロー
【主な予算費目】	歳出：賃金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	相談者からは、「心配していたことが解決できて良かった」「順調に発育していたので安心した」などの声がある。来場者数は年々減少傾向である

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動) (DO)	毎月ふれあい館・泉ヶ丘市民センターの2カ所で開催 平成26年度3月現在実績：延べ1,139人(平成25年度延べ1229人)。ふれあい館延べ529人、泉ヶ丘市民センター延べ610人	27年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 毎月1カ所で開催(泉ヶ丘市民センター)年12回実施
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人 → ア: 相談者数 イ: 相談回数	予算の主な増減の理由 開催回数の減による看護師賃金の減。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 子育て中の母親(家族)と乳幼児	(単位) 人 → ア: 合志市民子育て中の母親と乳幼児 イ:	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 子育ての不安解消を図る	(単位) 人 → ア: 相談者数 イ:	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠 子育ての不安解消につなげるため、相談しやすく気軽に行ける環境づくりをすることで相談者が増えるため。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	24年度 実績(決算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	28年度 予定	29年度 見込	30年度 見込
① 活動指標	人	1,332	1,229	1,350	1,139	1,400	1,400	1,400	1,400	
	回	24	24	24	24	12	12	12	12	
② 対象指標	人	9,888	10,010	10,050	10,034	10,100	10,150	10,200	10,200	
	イ:									
③ 成果指標	人	1,332	1,229	1,350	1,139	1,400	1,400	1,400	1,400	
	イ:									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	418	418	356	355	293	293	293
		(A) 事業費計	千円	418	418	356	355	293	293	293
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	10	10	9	8	9	9	9
延べ業務時間		時間	605	319	520	363	520	520	520	
(B) 人件費計		千円	2,462	1,270	2,071	1,446	2,071	2,071	2,071	
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,880	1,688	2,427	1,801	2,364	2,364	2,364	

事務事業名	健康育児相談事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	----------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部 (SEE)

*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 相談しやすい環境づくりが必要。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ⇒
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 今後もホームページや広報、出生届、妊婦訪問や乳児訪問、乳幼児健診など様々な機会に周知するとともに要フォロー者には更なる声かけが必要であり、相談しやすい環境づくりを行っていく。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ⇒
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 周知の徹底と相談場所や駐車場の確保及び専門スタッフの配置が必要である。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ⇒
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似した事業はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ⇒
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 必要最低限の事業費で行っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 必要最低限の専門職と職員で行っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ホームページや広報、すこやかカレンダー、出生届、妊婦訪問や乳児訪問、乳幼児健診など様々な機会に周知しており、受益機会は公平と思われる。また、相談料は無料であり、公平である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ⇒
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 保健師や栄養士、看護師の専門職が対応している。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ⇒

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

子育ての不安解消や早期発見・早期治療、フォローの継続のために大切な事業である。相談者数は年々減少傾向である。しかし、乳児訪問や各種乳幼児健診において相談することで解決しているとも考えることができる。相談の機会は様々な機会を捉えて周知できているので、今後も継続していくことが大切だと考える。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 開催場所を相談者数が多い泉ヶ丘市民センターのみで実施し、開催回数を年24回から年12回とする。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○																				
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 相談者が減少しているため、すこやかカレンダー等への掲載や乳幼児とその保護者に接する機会に周知する等、また要フォロー者に声かけを実施し、周知に努める。また相談しやすい環境づくりをに努める。																						